

のぼりべつ

広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

4月6日(火)と7日(水)に、市内の小学校で入学式が行われ、新1年生477人が、これから6年間通う学びやに初登校しました。

7日は、あいにく雪のちらつく肌寒い入学式となりましたが、登別小学校の玄関前(写真)では、市や警察署、交通安全協会などによる交通事故防止の呼び掛けが行われ、児童に交通安全グッズが手渡されていました。

特集
笑顔をはぐくむ
福祉のゆりかご





特集

笑顔をはぐくむ 福祉のゆりかご

～総合福祉センター「しんた21」～

まちの保健・医療・福祉活動の拠点。 さあ、『しんた21』のドアを開けてみ よう。

平成6年1月6日。川上公園近くの片倉町の地に、総合福祉センター「しんた21」がオープンして、早5年がたちました。

市民の健康づくりやノーマライゼーション（障害をもつ方や高齢者など、社会的に不利を負う人々が、あるがままの姿で他の人々と同等の権利を享受できるようにするという考え方）の理念を促進し、保健・医療・福祉活動の拠点として建設された「しんた21」。

館内には、市の保健福祉課をはじめ、社会福祉協議会（デイサービスセンター、ボランティアセンター、ファミリーサポートセンターなど）や総合在宅ケアセンター、障害者団体、ボランティア団体などが幅広い活動を展開しています。

「しんた21」の代表的な事業の一つは、在宅で体の虚弱なお年寄りなどを対象とした「在宅老人デイサービス」や在宅で心身に障害をもつ方などを対象とした「心身障害者デイサービス」がありますが、「しんた21」で行っている事業は福祉活動だけではありません。市民の健康を促進する保健活動があります。

保健活動というと、現在の健康状態を過信し、その重要性を顧みない方を見受けることがあります。健康を保つことこそ充実した生活の基盤であることを多くの方が認識しています。

保健活動とは、文字どおり健康を保持する活動ですが、みなさんほどのように健康管理を行っていますか。

万病のもとといっても過言ではない「生活習慣病」。

今では、成人だけではなく、その罹病者が子どもにまでも広がりがつつあることから、その名を「成人病」から、「生活習慣病」と改めました。

生活習慣病の名が表すように、病気の多くは、日常生活にその端を發します。が、分かつてはいても日こ



総合福祉センター



Shinta 21 豆知識

◎「しんた21」の名前の由来

障害をもつ方やお年寄りをはじめ、市民のみなさんが気軽に利用できる施設、人と人とのふれあいが生まれ、親しみやすい施設とするため、「登別市総合福祉センター」の愛称を市民のみなさんから募集しました。

105点の応募の中から選ばれたのが、千歳町にお住まいの丸山優子さんの「シンタ21」。平仮名のもつ優しさ、柔らかさを生かすため、「シンタ」を「しんた」とし、多くの人に親しまれてきました。

「しんた」という言葉は、アイヌ語で「神が天空を飛行するときの乗り物」と伝えられ、日常語では、「ゆりかご」という意味をもつともいわれています。「21」は、明るく広がる21世紀を表しています。



ろの健康管理をなおざりにしてしまいう方も多いのではないのでしょうか。

「しんた21」では、「保健婦」らによる各種健診活動や健康アドバイスを発行しているほか、2階にはトレーニング機器を備えたトレーニングルームを設け、専門のトレーナーによる健康づくりや体力の維持増進を支援しています。

「健康こそ、最高の財産」。よく耳にする言葉ですが、みなさん

は、その大切な財産を失わないように貯蓄・投資していますか。

「しんた21」では、みなさんの貯蓄・投資に「笑顔」という利子をお付けします。

「でも、しんたのどこを利用したらいいか分からない」。

そんな方のために、今号では「しんた21」内の主な機関やその担当者をご紹介します。

だれもが健康で生き生きと生活できる環境づくり、地域づくりを進めるために。

登別市保健福祉課

乳幼児から成人まで幅広い年齢層を対象とした健康相談・診査をはじめ、まちの保健福祉活動のなためである「市保健福祉課」。

平成12年4月1日からは、介護保険制度がスタートしますが、保健・医療・福祉の三位一体を図る上で、「市保健福祉課」の果たすべき役割は非常に重要です。

中でも、地域に密着し、まち全体の看護職ともいえるべき「保健婦」の活動は幅広く、さまざまな年齢層を対象とした健康相談を行っているほか、高齢者や乳幼児などがある家庭を訪問し、健康状態や生活習慣のチェック・改善指導、育児相談を行う訪問指導・相談

など、病気になる体づくりを重点に、保健活動を進めています。

健康相談・

診査は、「広報のほりべつ15日号」で毎月

お知らせしている「健康相談（満40歳以上の方を対象）」や「7

カ月児・8カ月児健康相談」、「乳幼児健康相談」、「3カ月児・4カ月児健康

診査」、「1歳6カ月児健康診査」、「3

歳児健康診査」などを行っているほか、



担当者紹介

健康なときこそ健診を。

保健婦

工藤 薫さん(くどう かおる)

1965年生まれ。保健婦として21年のキャリアをもつベテラン。まちの看護職として、多くの市民へ健康アドバイスを行っている。



保健活動は、健康なときから行うことに意義があります。

健康診査は、病気の疑いがあると自覚してから診査を受けるのではなく、健康な状態を保持するために受診するものです。

みなさんも短時間で済む健康診査を受けて、健康な生活を送りませんか。

お年寄りが、住み慣れたわが家で、家族とともに笑顔で暮らせるお手伝いを。

登別市デイサービスセンター

担当者紹介

楽しい老後のお手伝いを。

寮母

堀 寿子さん(ほり ひさこ)



1956年生まれ。登別市デイサービスセンターに勤務して4年目。絶やすことのない笑顔は、お年寄りの心のオアシス。

デイサービスは、利用しているお年寄りにとって、多くの人と会話を楽しめる社交場であり、心のふれあいの場なのです。

お年寄りが、デイサービスを利用することで、生活に張りを持ち、充実した毎日を送っていただけたら本当にうれしいですね。

地域の要請で生活習慣病の予防アドバイスなどを行う「健康教室」を開くなど、病気になるににくいライフスタイル（衣食住だけではなく、娯楽なども含

む暮らしぶり。生活に対する考え方や習慣）の確立を支援しています。▼問い合わせ 保健福祉課 (TEL) 01100

(TEL) 01100

市から委託を受け、登別市社会福祉協議会が運営する「登別市デイサービスセンター」では、寝たきりや体が虚弱なため、日常生活に支障のあるおむね65歳以上のお年寄りを対象に、食事や入浴、日常動作訓練などを行う「在宅老人デイサービス」と、心身に障害をもつ方を対象に創作的活動や社会適応訓練などを行う「心身障害者デイサービス」を行っています。

「在宅老人デイサービス」では、専用バスでお迎えした在宅のお年寄りの健康状態のチェック、食事や入浴サービス、リハビリを兼ねたレクリエーションなどを行っています。寝たきりのお年寄りや重



▲特殊浴槽での入浴

担当者紹介

だれでもできるボランティア。

ボランティアコーディネーター

関川昌子さん(せきかわ まさこ)

1961年生まれ。昨年4月から登別市ボランティアセンターの職員として勤務。



ボランティアを始めるきっかけは人それぞれです。ちょっとした勇気があれば、だれでもできるのがボランティアです。ボランティアを始めたい、興味があるという方は、どうぞお気軽にお電話ください。センターに電話をかけたそのときから、ボランティアは始まります。

ボランティア。耳にはよくする言葉ですが、実際にやってみようと思っても、なかなかきつかけがつかみにくい活動なのかも知れません。ボランティア活動を始めたい。でも、どうやって始めたらいいかわからない。

そんな方の先導役を担うのが「登別市ボランティアセンター」です。ボランティアセンターでは、ボランティアを始めたい方やグループなどが、安心して活動できるように登録制度を設け、具体的な活動内容の紹介や活動

ボランティアは人づくり・まちづくり。今日から始めてみませんか。心を磨くボランティア。

「登別市ボランティアセンター」

度の障害をもつ方が入浴できる特殊浴槽を使った入浴サービスでは、平成10年4月からスタッフを増員し、利用枠を1日2人から5人に増やすなど、サービスの向上と充実に努めています。また、「心身障害者デイサービス」では、ワープ講座やカラオケ講座などを開き、心の充足支援などを行っています。

▼問い合わせ 登別市デイサービスセンター (☎01101)



総合福祉センター



お年寄りとその介護をする方の負担を、少しでも軽くできるように支援していきたい。

「登別総合在宅ケアセンター」

担当者紹介

正しい介護の知識を。

総合在宅ケアセンター長

小林洋子さん(こばやし ようこ)



1952年生まれ。平成8年8月、登別総合在宅ケアセンター長に就任。勤務に追われながらも、高齢者へ優しい気配りを欠かさない。

高齢者の介護は、介護する方の心と体に大きな負担が掛かります。私たちセンター職員は、高齢者と介護者の負担を少しでも減らすために活動しています。

介護問題は、なかなか一人では解決できません。家族だけで深刻に悩まず、お気軽にご相談ください。

「登別総合在宅ケアセンター」は、看護や介護を必要とする高齢者や障害をもつ方が、住み慣れたわが家で安心して暮らせるよう、看護婦が家庭を訪

問して看護や介護を行う「訪問看護ステーション」と保健・医療・福祉サービスを総合的に提供できるように調整する「在宅介護支援センター」の機能

のための研修の機会を設けているほか、さまざまなボランティア活動を体験することが出来る「ボランティア体験月間」や「市民ボランティア講座」などを実施しています。ボランティアセンターには、現在、約200人の個人ボランティアと35団体約1千400人のボランティア団体が登録し、ボランティア活動を行っています。

▼問い合わせ 登別市ボランティアセンター (☎2080)



を併せ持っています。

「訪問看護ステーション」では、病
気やけがなどのため、家庭で寝たきり
や寝たきりに近い生活を送っている方、
痴ほう、難病、心身に障害をもち、医
師が訪問看護を必要と認めた方に、看
護婦が家庭を訪問し、食事や排せつの
介助や指導、入浴の介助や床ずれの予
防と手当て、リハビリテーションのお

手伝いなどを行っています。

また、「在宅介護支援センター」で
は、寝たきりや寝たきりに近い高齢者
とその介護者の総合的な相談を受けて
いるほか、家庭での介護の知識や技術
指導、介護機器の紹介、各種申請手続
きのお手伝いなどを行っています。

▼問い合わせ 登別総合在宅ケアセン
ター (☎0122-2221)

子育て中のお母さんを支援し、ぬく
もりのある子育て環境の輪を広げて
いきたい。

登別市ファミリーサポートセンター

ファミリーサポートセンターは、子
育ての援助を受けた人(依頼会員)
と援助したい人(提供会員)の双方が
会員となり、依頼会員が通院や残業、
急用などのとき、提供会員が子どもを
保育所などに送迎したり、提供会員の

自宅で預かるなどの仕組みで、地域ぐ
るみの新たな子育て支援の一つです。

依頼会員や提供会員になるための資
格や入会金、会費などは不要で、会員
登録をしておけば、センターのアドバ
イザーや各地区のサブリーダーを通し

担当者紹介

子育てをしながら心に余裕を。

アドバイザー

堀井有子さん(ほりい ゆうこ)

1961年生まれ。
平成10年10月か
ら「登別市ファミ
リサポートセン
ター」のアドバ
イザーとして地
域ぐるみの子
育てを支援。2
児の母。



働きながら安心して子育てをするの
は、核家族化が進む現代では難しいこ
となのかもしれません。

ファミリーサポートセンターは、地
域全体で子育てを進める第一歩です。

会員も年々増え、地域ぐるみの子育
ての輪が広がってきました。子育て中
のお母さん、ご連絡ください。

て、いつでも援助を依頼することがで
きます。

報酬についても、従来の保育施設な
どでの方法と異なり、援助終了後に依
頼会員が提供会員へ1時間につき、500
円(土・日曜日、祝日は600円)を支払
うといったシステムを採用しています。

平成11年3月31日現在、センターに
は依頼会員205人、提供会員73人、依頼
提供両方会員46人の計324人が登録し、
地域での子育てに取り組んでいます。

▼問い合わせ 登別市ファミリサポ
ートセンター (☎0122-0033)

知的な障害をもつ方の自立を支援し、
生きる喜びやものをつくり出す喜び
を分かち合いたい。

すずかけ作業所

担当者紹介

すてきな笑顔を守りたい。

授産施設指導員

工藤節子さん(くどう せつこ)

1939年生まれ。
平成2年1月か
ら「すずかけ作
業所」の授産施
設指導員として
勤務。通所して
いる方を支える
「すずかけ」の
お母さん。



すずかけ作業所に通所している方は
本当に純粋で、ときおりすてきな笑顔
を見せてくれます。

知的な障害をもつ方が、家族や地域
の方の応援を受け、地域社会に溶け込
んでいけるようみんなで頑張ってい
きます。市民のみなさんのご理解とご協
力をお願いします。

「すずかけ作業所」の正式名称は「登
別市小規模通所授産施設」といい、「す
ずかけ」は登別市の木である「プラタ
ナス(和名・すずかけ)」にちなんで
います。

すずかけ作業所では、在宅で知的な
障害をもつ方に対して、通所による生
活・作業訓練を行い、障害をもつ方の

▼「すずかけ作業所」での作業風景



自立の促進と福祉の向上を目指しています。

現在、作業所には8人が通所し、授産施設指導員2人の指導のもと、掃除、調理、運動などの生活訓練や、はしの包装、西洋陶芸、縫い物などの作業訓練を行っています。

また、作業訓練で通所者が製作した

作品は、「しんた21」を会場に開かれる「健康まつり」などで展示販売し、地域との交流を図っています。

この作業所の訓練を活用して、贈り物などの製作を希望する方は、お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ 保健福祉課

(☎0100)

健康づくりは楽しみながら。『しんた21』のトレーニングルームをご利用ください。

『しんた21』トレーニングルーム



『しんた21』のトレーニングルームは、自分の好みの速度でゴムベルトの上を歩いたり走ったりすることができます。「ウォーキングマシン」や「ランニングマシン」、ひざ関節へ負担をかける適度な運動ができる「エクササイズバイク」、肩や腕の筋肉を鍛えるための「ベンチ

担当者紹介

体を動かすって楽しいですよ。

トレーナー

大場裕子さん(おおば ゆうこ)

1976年生まれ。平成10年4月から『しんた21』トレーニングルームのトレーナーとして活躍。健康運動実践指導者の資格をもちます。



トレーニングルームでは、健康づくりやダイエットなど、目的に応じてトレーニングメニューを設定することができます。適度な運動をして、心地よい汗をかくことで、心も体も健康になります。トレーニングルームは1回500円で利用できます。みなさんも一度利用してはいかがでしょうか。



総合福祉センター

しんた21

保健・医療・福祉の充実。幸せと笑顔は、与えられるものではなく、つくりだすもの。



プレス」や太ももを鍛える「ダブル・ニー」、腹筋を鍛える「バック・アブドミナル」など、さまざまなトレーニング機器が備えられ、天候に左右されず気軽に運動ができます。

また、トレーニングルームには、3人のトレーナーを配置し、初めてトレーニングマシンを使う方でも安心してご利用いただけるように配慮しています。

トレーニングルームでは、体力などに合わせた各種トレーニングメニューを設定していますが、施設を利用する前に、毎月5のつく日(土・日曜日、祝日を除く)に行われる体力測定を受けて、自分に合ったトレーニングをする、より効果的です。

▼問い合わせ 保健福祉課

(☎0100)

健康で、生き生きと充実した生活を送る。だれもが求めるささやかな願いかもしれません。日々の生活に幸せを見いだすときは、自分が健康であると再認識したときかもしれません。

今、自分が健康であるなら、その掛け替えのない財産を減らすことのないよう維持し、生活に張りがあると実感できたなら、自分を取り巻く人々の生活が見えてくることでしょう。

他人の生活が視野に入ったとき、私たちは初めて地域という大きな生活エリアを目にし、自らが果たすべき役割の意義を考えるのではないのでしょうか。ボランティア活動や地域ぐるみの高

齢者介護。

福祉の充実が、私たちの心の在り方、考え方に大きく左右されます。

『しんた21』は、福祉をいっそう充実させるための拠点であり、基盤となる施設です。

しかし、その拠点も一人ひとりの「福祉」が、そして「保健」への理解と取り組みがなくては、十分な力を発揮することはできません。

『しんた21』は、幸せと笑顔をはぐくむ大きな「ゆりかご」。

その「ゆりかご」を優しく慈しみながら揺らす手は、私たち一人ひとりの心の手なのです。



▲新ごみ処理施設「クリンクルセンター」完成予想図

新施設は「クリンクルセンター」

市が公募していた新ごみ処理施設の名称が「クリンクルセンター」に決まりました。

幸町の現清掃工場横に建設中で、平成12年4月の稼働を予定しているこの施設の名付け親は、登別中学校1年の太田遥さん。

3月18日(木)には、感謝状の贈呈式が行われ、母親の和子さんと共に市役所を訪れた遥さんに、上野市長から感謝状が贈られました。

「クリンクル」は、「クリーン(清潔な、きれいな)」と「リサイクル」を合わせたもの。

新しいごみ処理施設ができることで、まちをきれいになりたいという願いが込められています。



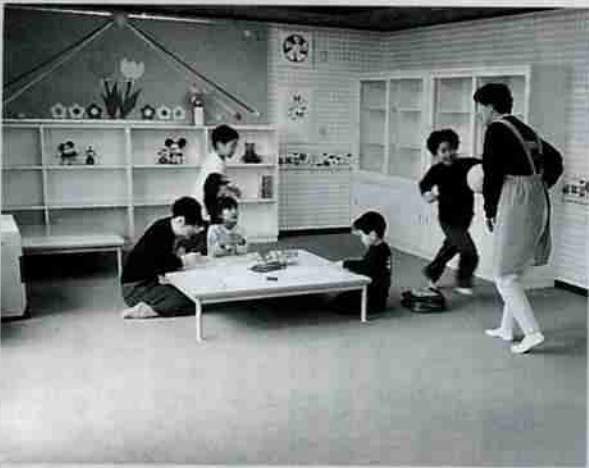
お母さん 和子
お名前 遥さん

放課後児童クラブがスタート

日中、保護者が仕事で家にいない児童などを受け入れる市内初の放課後児童クラブが、4月1日(木)、富岸青少年会館内に「富岸児童クラブ」としてスタートしました。同クラブは、富岸小学校区を対象に、共働き世帯や母子・父子家庭の子どもたちが、安心して放課後を過ごすことができるよう有料で受け入れるもの。

現在、富岸小学校1～4年生の13人が登録し、保母経験のある2人の指導員のもと、子どもたちは放課後をくつろいだ雰囲気ですごしています。

▶問い合わせ 児童家庭課 (☎5634)



鷺別漁港が開港

昭和58年から整備が進められてきた鷺別漁港の工事が完了し、3月27日(土)に登別漁業協同組合をはじめ、関係者が出席して開港式が同漁港で行われました。

鷺別漁港は、昭和23年に開設されてから、昭和26年10月に第1種漁港として指定され、その後も一部整備されてきましたが、施設が狭く老朽化してきたため、本格的な整備が必要となり、隣接地に総工費約22億6千万円と16年の歳月をかけて、250坪の東防波堤や船揚げ場、漁船・漁具保管用地などを新設し、開港の運びとなりました。

鷺別支所若草分室が移転

4月5日(月)、若草つどいセンター内に設置されていた鷺別支所若草分室が、室蘭信用金庫若草支店内に移転し、業務を開始しました。

この日は、午前10時から同支店内でオープニングセレモニーが行われ、窓口業務が開始されるのを待っていた若草町の2人の方に、上野市長から直接住民票が交付されました。(写真)

金融機関の店舗内に市町村の窓口が設置されるのは、全道でも初めてで、地域の方は、住民票や印鑑証明書などの交付を受けると同時に、同支店内で税金などの納付を済ませることができるようになりました。



▲室蘭信用金庫若草支店



新しい橋の名前が決まりました



おおしまとみえ
大島富枝さん

3月30日(火)、市長応接室で、富岸町2丁目の新しい橋に名前を付けてくれた方に、上野市長から感謝状と記念品が贈呈されました。

新しい橋の名前は、「広報のほりべつ」などで募集していましたが、選考委員会で応募数84点の中から、富岸8号橋は富岸小学校3年生の工藤大希くんの「にこにこ橋」が、また、富岸7

号橋は青葉小学校3年生の四柳武士さんと新生町の主婦・大島富枝さんの「なかよし橋」が、親しみやすく、元気に渡る子どもたちの情景とマッチしていることで選ばれました。



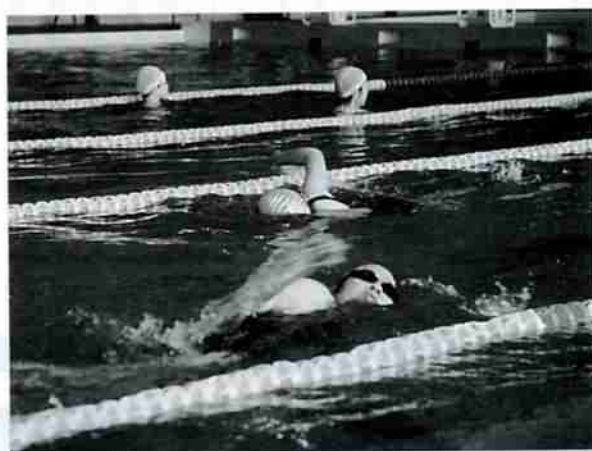
▲富岸8号橋「にこにこ橋」



よつやなぎたけし
四柳武士くん



くどうたいし
工藤大希くん



一足早い『夏の涼』

4月1日(木)、平成10年度で外壁の張り替えを終え、装いを新たにした千歳町の登別市民プール(温水)がオープンしました。この日は、水泳サークル会員らが、約3カ月ぶりの水の感触を楽しんでいました。

▶登別市民プールの遊泳時間

- ◎火～金曜日、第1・第3土曜日……13時～19時30分
- ◎第2・第4土曜日……10時～19時30分
- ◎日曜日、祝日……10時～17時30分

▶休館日 月曜日、祝日の翌日

▶問い合わせ 登別市民プール (☎5.5.8.8)

広報のほりべつがリニューアル

『広報のほりべつ1日号』が、今号(平成11年5月1日号)から新コーナーを加え、リニューアル(新しくすること)しました。

新コーナーは、市の保健婦などの健康ワンポイントアドバイスを掲載する『元気宅配便』、故郷のほりべつの文化財などを紹介する『ふるさとの文化遺産』の2コーナー。

また、市民のみなさんからのご意見などを掲載する『ちょっとひとこと』の枠を拡大したほか、隣まちの情報を掲載する『となりまちホットライン』へ新たに白老町を加え、既存コーナーの充実を図りました。

生まれ変わった『広報のほりべつ』へ、みなさんのご意見やご感想をお寄せください。

▶問い合わせ 企画広報室 (☎1.1.2.2)



元気

宅配便



今月のアドバイザー
ちばひろみ
千葉裕美 保健婦

生活習慣病（成人病）は、

ある日突然にかかるものではないです。偏った食生活や運動不足、ストレスや生活リズムの乱れなど、体に良くない生活の積み重ねによって発病するといわれ、具体的には高血圧症、高脂血症、心臓病、糖尿病などが挙げられます。

生活習慣病は、自覚症状がない場合が多いので、知らず知らずのうちに動脈硬化や高血圧症などにかかってしまい、脳卒中や心臓病の発作を引き起こすケースも見受けられ、ひどい場合は、後遺症によって寝たきりの生活となってしまう恐れもあります。

毎年、40歳以上の方を対象に行っている基本健康診査（循環器検診）の結果では、「要注意」と指摘された方のうち、半数以上の方が高脂血症（高コレステロール）と診断され、こうした方は年々増え続けています。

生活習慣病の予防は、日常生活の改善から



普段から血圧をチェックすることも大切

また、市内で亡くなられた方の死亡原因では、脳血管疾患、心疾患、糖尿病などの割合が、全道平均よりかなり高くなっています。

生活習慣病を予防するには、
①散歩（早歩き）やジョギング、水泳などの適度な運動を続け、運動不足の解消を図る。
②高脂肪の肉やバターなどの取り過ぎに気を付け、うす味で栄養バランスのとれた食生活を続ける。

③規則正しい生活を送り、十分に休養をとる。
などを心掛け、日常生活を改善することが大切です。

また、毎年健康診断を受けて、自分の健康状態をチェックしてみましよう。

私たちの活動の拠点「しんた21」には、いつも保健婦や栄養士がおりますので、お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ 保健福祉課

（しんた21内 ☎0100）

人が輝き まちがときめく

仲間たち Group

婦人スイミングサークル「イルカ」



基本は楽しく泳ぐこと。
水中で歩くだけでもいいんです。

「イルカ」は、市民プールがオープンした翌年の昭和51年に結成された婦人水泳サークルです。49歳から最高齢80歳の方まで30人の会員が、毎週水曜日と金曜日の午後、プールで楽しく泳いでいます。

水泳をしている人ならだれでも泳いでみたい個人メドレー（バタフライ・背泳・平泳ぎ・クロールの4泳法を連続して泳ぐ）をマスターした方や、指導員の資格を取得し、ボランティアで子どもたちを指導している会員もいます。

でも、基本は楽しく泳ぐこと。まずは、水中ウォーキングから始め、それぞれの体力に合わせて毎回1千回から2千回をゆつくりと泳ぎます。「腰痛や肩凝りが軽くなり、泳いだあとはスッキリして夜もぐっすり眠れますよ」と話すのは今年の役員吉岡邦子さん。

水泳は足腰に負担をかけずに体力



づくりができる高齢者にとって親しみやすいスポーツですが、サークルの指導をしている登別水泳協会の橋本淑子さんは「ひざが曲がらなくなつて困っていたご婦人が、水泳を続け正座ができるようになって大変喜ばれました」とエピソードを話してくれました。

サークルでは各メンバーが泳いだ年間の距離数に応じて表彰したり、年末に開催される市民水泳記録会にも毎年参加しています。

「年に1回はみんなで温泉に泊まったり、パークゴルフに行ったりもするんですよ」と吉岡さん。

仲間やコーチと親しく交流することが、水泳を続ける最大の楽しみみのようです。

入会を希望する方は吉岡さん ☎3141 までどうぞ。

保存してありますか？ 広報のほりべつ

『広報のほりべつ2月1日号』の広報アンケート結果を読み、とても残念に感じています。それは、アンケートの対象となった約半数の方が広報紙を保存していないという結果が載っていたからです。

広報紙は、市政や行事などの重要な情報を掲載しているのに、市民の多くが保存していないという事実は本当に残念です。

私の自宅には高齢者がいますので、なかなか外出もままならず、町内会や老人会にも出席することができません。ご近所の方から情報が入らなくても、広報紙には市政情報が満載されていますので、とても役に立っています。

そんな広報紙を大勢の人たちに読んでもらいたいです。保存もそれぞれの家でしてほしいです。

以前、知人がリストラのため職を失い、再就職の入社試験を受けるとき、試験対策で登別市のことを知りたいというので、私が保存していた広報のほりべつを貸して喜ばれたこともあります。昨年4月に配布された

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

企画広報室

☎(85) 1122
FAX(85) 1108
Eメール: n-koho@earthcape.ne.jp

中央町6-11

市民便利帳も役に立っています。市民の多くの方が広報紙を、活用されることを祈っています。

(匿名希望 女性)

冬もマナーを守って ください！

春になって雪がとけてくるとベットのふんが目に付きます。雪がない季節は袋を持ち歩いてきちんとふんを片づけている方が、どうして冬も同じようにマナーを守れないのでしょうか。雪で一時的に隠れていても、雪は春になると必ず消えます。私たちの住むまちがベットのふんだらけになっても良いのでしょうか。

(若草町 女性)

ふるさとの 文化遺産

ひのあいせ 日野愛憲著『明治2年以降 片倉家北海道移住顛末』



明治2(1869)年、いまの宮城県白石市から伊達藩片倉家の主従が登別に移住してきました。明治維新の混乱の中、厳しい自然に立ち向かい困難な開拓が始まりました。この著書は移住後24年間のできごとをまとめた登別の貴重な開拓記録です。

著者の日野愛憲は、代々片倉家の家老をつとめた日野家に生まれ、登別開拓のリーダーとして活躍しました。幌別・鷺別村の戸長を歴任したほか、カルルス温泉の発見者としても知られています。

この著書は平成5年に登別市指定文化財に指定され、郷土資料館に展示されています。

▶問い合わせ 郷土資料館
(☎) 1339



あすなろ

たしるけんすけ 田代健介さん(26歳)

室蘭総合自動車学校勤務

交通ルールはもちろん、思いやりの気持ちも学んでほしい

「教習指導員を務めるうえで大切なことは『忍耐』。自分の思いが生徒さんにうまく伝わらないことがあるので、人にものを教える難しさを痛感しましたが、初めて車を運転する相手の気持ちになって教えることを、常に心掛けています」と話す田代さん。室蘭総合自動車学校で最年少の教習指導員として、運転技能や学科の教習指導にあたっています。

「以前、教習で手を焼いた生徒さんが、札幌の手稲区にある運転免許試験場での試験に合格し、取得したばかりの運転免許を見せてくれたんです。その笑顔はいまだに忘れられないですね」と話す田代さんは、「安全運転」というもう一つの免許を与えてくれます。



会員同士がお互いに助け合う市民互助型ボランティアの発展を目指して

「ボランティア活動に携わって間もないとき、大阪府堺市に会員互助型のボランティア活動を行っている団体があることを知り、これからのボランティア活動はこれだと思いました。早速、仲間に呼びかけ「登別ライフケアを考える会」を発足し、活動を開始しました。その後、室蘭市の方も会員となりましたので「いぶりたすけ愛」に改称しました」と話す星川さん。

「いぶりたすけ愛」の現在の会員数は384人。会員同士がお互いに助け合う市民互助型のボランティア活動を強力に展開しています。家事援助、軽度な介護サービス、通院時などの移送サービスを有償（1時間当たり500円）で提供しているほか、ボランティア活動に携わった時間だけ自分がサービスを受けられる福祉の時間預託制度を導入しています。

このような活動を行っている団体は、全国的にも少ないそうです。

NPO法に基づく法人認証は、全道で2番目、胆振管内では第1号

「平成12年4月から始まる介護保険の指定居宅サービス事業者として、北海道から指定を受けることができるのは、法人に限られる



と知ったのは昨年の12月でした。ちよとどころ、ボランティア活動などに取り組み民間非営利団体に法人格を与え、その活動を支援する目的でNPO法が制定されましたので、この法律に基づく法人認証を取得し、北海道から指定を受けられるよう会員同士が力を合わせて申請書を作成し、提出しました。何度も書類を作り直し、ようやく認証を取得することができましたが、そのときはうれしかったですね」と星川さん。

「高齢者が年々増加している今日、営利にとらわれることなく、地域の方が自主的に福祉活動を進めていくことに意義があると思っています。これからは、介護保険の準備に向けて全力を上げて取り組んでいきます」と語る星川さんは明日の高齢社会を支え続けます。



昭和26年3月生まれ。48歳。

東北福祉大学卒業。平成2年からボランティア活動に携わり、常にボランティアの在り方について研さんに励み、ボランティア活動のリーダーとして会員からの信頼も厚い。

きらり

KIRARI

ほし かわ みつ こ

星川光子さん(新川町)

福祉ボランティア活動に携わって9年目を迎え、地域で活動しているボランティア団体『いぶりたすけ愛』の代表として活躍中。

昨年12月に制定された「特定非営利活動促進法」(NPO法)に基づく法人認証を取得し、平成12年4月から開始される介護保険に向けて準備を進めている星川さんに話を聞きました。

介護保険制度に対応できるボランティア組織づくりを

5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5		
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			

市民会館大ホールの

改修工事が終わりました

客席の床を傾斜式にし、舞台をいっそう見やすくするために、昨年10月から行っていた市民会館大ホールの改修工事が終了し、5月1日(日)から利用を開始します。

工事期間中、市民のみなさんにはご不便をおかけしましたが、客席には、車いす用のスペースと母子席を新たに設けています。どうぞご利用ください。

▼市民会館の利用申し込み・問い合わせ
市民会館 (☎1139)

まちをきれいに!

春の登別クリーン作戦

市内を清潔で、快適な美しいまちにするため、町内のごみを一掃しましょう。

▼日時 5月16日(日) 8時～9時
(小雨決行。雨天時は5月23日(日)に順延します)

ささえあう

地域のみんなで

子育て支援

5月5日(水)～11日(火)は
「児童福祉週間」です

▼集積場所 9時までに各地区のゴミステーション

※空き缶は透明な袋に入れるか、表示して出してください。また当日は、家庭内から出るごみを出さないでください。

▼問い合わせ 環境資源課 (☎2958)

登別市民憲章制定30周年記念式典を開催します

登別市民憲章は、先人が築いてきた知恵や文化を伝承し、明るく豊かで住みよいまちづくりの行動目標として、昭和43年、市民総意のもとに制定されたものです。

市と登別市民憲章推進協議会は、これを記念して、式典などを開催します。市民のみなさんの多くの参加をお待ちしています。

▼日時 5月16日(日) 14時
▼場所 市民会館

▼内容

◎14時：記念式典

◎15時：基調講演「そこに「ひと」がいて「まち」がある」、講師：藤谷榮也さん(元NHKアナウンサー)

◎16時：パネルディスカッション

◎17時：祝賀会(会費2千円。参加を希望する方は5月10日(月)までに企

画広報室へお申し込みください)

▼その他 記念事業の一環として募集した、小中学生の絵画・書道を市民会館で展示しています(展示期間は5月8日(土)～5月23日(日))

▼申し込み・問い合わせ 企画広報室 (☎1122)

新たに前川博さんが

行政相談委員に委嘱されました

市内には、総務庁長官が委嘱した2名の行政相談委員がいます。

国や特殊法人(公団・銀行・公庫など)の業務、北海道や市の業務に関する苦情や意見、要望をお持ちの方は、お気軽に行政相談委員にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

登別市の行政相談委員

氏名	住所・電話番号
前川 博さん (新任)	中央町3丁目24-8 ☎2360
山形真子さん (再任)	若草町5丁目3-3 ☎8034

▼問い合わせ 企画広報室 (☎1122)

「新しい教育をつくる21懇話会」

の委員を募集します

教育委員会は、2002年に実施される新教育課程に向け、学校現場

だけでなく、地域の方と一緒に特色ある教育活動が展開できるように、市民のみなさんの意見を参考にするため、「新しい教育をつくる21懇話会」の委員を募集します。

▼応募資格 市内に居住する高校生以上の方(無報酬)

▼任期 平成12年3月31日(金)まで

▼募集人数 5人

▼内容 おおむね6回の懇話会出席(教育講演会、意見交換会など)

▼申込方法 市民会館、各支所に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、今日の教育に対する考え方、意見などを市販の原稿用紙に400字程度にまとめ、5月17日(月)までに学校教育課(〒059-0001 4富士町7丁目33)へ提出または郵送してください

▼申し込み・問い合わせ 学校教育課 (☎1162)

市役所と市の施設が

禁煙になりました

～5月1日(日)から～

市は5月1日(日)から、市役所と市の各施設の職場内を禁煙にしました。なお、来庁する方のために、市役所本庁舎1階市民ロビーと、第2庁舎、市民会館、総合体育館、市立図書館1階ロビーなどに空気清浄機を設置し、喫煙場所を設けます。これに伴い、市役所や市の各施設で行う会議の会場も禁煙としますので、みなさんのご協力をお願いします。

▼問い合わせ 総務課 (☎1130)

かると

春の「親子そば打ち体験教室」

参加者募集

親子で「そば打ち」を体験し、家族のきずなを深めませんか。

- ▼日時 5月22日(土) 10時～13時
- ▼場所 文化伝承館(郷土資料館横)
- ▼対象 市内に居住する親子(1組2～4人)
- ▼定員 10組(申し込み多数の場合は抽選)
- ▼参加料 1組300円(材料費)
- ▼持ち物 ふきん3枚、胸からかけるエプロン、髪をおおうもの
- ▼申し込み・問い合わせ 5月6日(休)の9時から12日(休)の17時(土・日曜日を除く)までに社会教育課 (☎1129)

支笏洞爺国立公園指定50周年記念「支笏洞爺スタンプデザインコンクール」作品募集

支笏洞爺国立公園連絡協議会は、8月1日(日)から10月31日(日)までの期間に行われる「支笏洞爺スタンプラリー」で使用されるスタンプデザインを募集します。

- ▼対象 小学5・6年生、中学生
 - ▼作品規定 八つ切りサイズの画用紙(約34×8センチ×約27×2センチ)の中央に、直径24センチの円を描き、その中にできるだけ登別の名所のデザインを描いてください
- ※詳しくは、観光課または各支所に備え付けの募集案内のチラシをご参照ください。

- ▼申し込み・問い合わせ 5月21日(金)までに観光課(☎2018)

ホームヘルパー2級課程 通信講座受講者募集

伊達赤十字病院は、ホームヘルパー2級課程通信講座を行います。

- ▼対象 在宅で介護している方または将来ボランティアやホームヘルパーとして活動したい方
- ▼定員 40人
- ▼研修期間 7月1日(木)～12月31日(金)
- ▼研修場所 伊達赤十字看護専門学校(伊達市末永町81)
- ▼受講料 8万8千980円(3回分割払い9万2千148円)
- ※受講料給付制度もあります。詳しくはお問い合わせください。
- ▼申し込み・問い合わせ 5月17日(川)から6月11日(金)までに電話で伊達赤十字病院医療相談室 (☎014222211)

「登別市ほけ老人を支える会」(仮称)を設立します

痴ほう性のお年寄りを介護する家族が、共に悩みを考え、励まし合い、安心して介護が続けられるよう、「登別市ほけ老人を支える家族の会」(仮称)をつくりたいです。

なお、会の設立にあたり、設立総会を開催します。

- ▼月日 5月15日(土)
- 詳しくはお問い合わせください。

- ▼時間 14時～16時30分
- ▼場所 市民会館大会議室
- ▼内容
 - ◎議題：「登別市ほけ老人を支える会」の活動内容と規約について
 - ◎設立記念講演「ほけても安心して暮らせる地域づくりのために」
 - 講師：立野新平さん(北海道ほけ老人を支える家族の会会長)
- ▼問い合わせ 小林さん (☎4214)

カムイヌプリ山開き・市民登山会

- ～登別山岳会主催～
- ▼日時 5月16日(日) 8時30分
- ▼集合場所 カムイヌプリ登山口
- ▼参加料 500円(記念品代、保険料)
- ※当日は山頂まで登ります。
- ▼問い合わせ 河村さん (☎2069)

- 春の市民探鳥会(鉾山町) ～自然愛好グループヨシキリの会・日本野鳥の会室蘭支部共催～
- ▼月日 5月9日(日) 8時15分
- ▼集合場所 郷土資料館裏駐車場
- ▼参加料 無料
- ▼申し込み・問い合わせ 伴野さん (☎7515)

バードウィーク展を開催します

- ～日本野鳥の会室蘭支部主催～
- ▼月日 5月7日(金)～9日(日)
- ▼場所 登別サティ2階ギャラリー
- ▼入場料 無料
- ▼内容 野鳥のパネル展、バードカービング(鳥の彫り物)や野鳥グッズなどの展示ほか
- ▼問い合わせ 伴野さん (☎7515)

のぼりべつ 7/17(土)・18(日) 開催 豊水まつり 企画・イベント・ボランティア 大募集!

「のぼりべつ豊水まつり実行委員会」は、おもしろい企画、やってみたいイベント、実行委員会に入っていたくボランティアなどを広く募集します。自分の手で「のぼりべつ豊水まつり」を作ってみよう(個人・団体を問いません)の応募をお待ちしています。

- ### 募集内容
- ①おもしろい企画 ②やってみたいイベント
 - ③参加したいボランティア
 - ◆介護ボランティア ◆清掃ボランティア
 - ◆会場案内ボランティア ◆救急ボランティア
 - ◆企画・制作ボランティア
 - ④こんな特技があります

応募先・問い合わせ

のぼりべつ豊水まつり実行委員会・廣瀬さん
 〒059-0003 千歳町4丁目5-101
 セブン・イレブン登別千歳店内
 ☎2903・FAX☎8408
 Eメール itaru@rose.ocn.ne.jp

市民ハイキング参加者募集 〜登録レクリエーション協会主催〜

私たちの住むまちをながめながら、家族や仲間と一緒に歩いてみませんか。今回は富岸から、幌別ダムを一望できる丘まで歩きます。

- ▼月日 5月16日(日) (小雨決行)
- ▼受付時間 8時〜8時30分
- ▼集合場所 富岸青少年会館前(富岸小学校グラウンド横)
- ▼参加料 1人200円(保険料を含む)
- ▼募集人数 50人
- ▼持ち物 昼食、飲み物、雨具
- ▼その他 動きやすい服装と歩きやすい靴で参加してください
- ▼申し込み・問い合わせ 5月13日(木)までに佐々木さん (☎7570)

第4回健康教室 ホップ！ステップ！ジャンプ！ 〜登録厚生年金病院主催〜

- ▼日時 5月14日(金) 9時〜17時
- ▼場所 厚生年金白老保養ホーム (登録厚生年金病院から会場までの送迎バスがあります)
- ▼テーマ 高齢者の排尿障害について (錦大沼の散策も行います)
- ▼対象 排尿のことでお悩みの方または関心のある方
- ▼定員 25人
- ▼参加料 1千円(昼食付き)
- ▼申し込み・問い合わせ 5月7日(金)までに登録厚生年金病院・亀田さん (☎2165)

狂犬病予防注射のお知らせ

市は、平成11年度の狂犬病予防注射を行います。生後91日以上の子犬は、毎年1回狂犬病予防注射を受けることが法律で義務づけられています。忘れずに受けましょう。

- ▶料金 狂犬病予防注射 2,490円
注射済票交付手数料 550円

※雨天時は延期する場合がありますので、当日9時までに奥山獣医科登録医院(☎7655)または室蘭保健所生活衛生課(☎9131)にお問い合わせください(小雨の場合は決行します)。

忘れていませんか？犬の登録

生後3カ月以上の犬は、所在地などを正確に把握するため、登録をして鑑札の交付を受けることが法律で義務づけられています。なお、飼い犬が死亡したときや所在地が変わったとき、また、飼い主や飼い主の住所が変わったときは環境資源課に届け出をしてください。

- ▶登録手数料 3,000円
- ▶問い合わせ 環境資源課(幸町2丁目4 ☎2958)
奥山獣医科登録医院(中央町6丁目20-5 ☎7655)

狂犬病予防注射日程表

5月22日(土)		5月23日(日)		5月29日(土)	
時間	実施場所	時間	実施場所	時間	実施場所
9:10~9:30	山本商店前(登録東町2丁目)	9:10~9:30	桜木団地駐車場(桜木町4丁目)	9:10~9:40	桜美園入口(美園町6丁目)
9:40~10:00	道コン住宅入口(登録本町2丁目)	9:40~10:20	津村商店前(緑町2丁目)	9:50~10:20	美園運動広場(美園町5丁目)
10:10~10:30	食堂天龍前(登録東町4丁目)	10:30~10:45	あかしや遊園地(若山町2丁目)	10:30~10:45	光和園前(美園町3丁目)
10:40~10:50	わかさいも本舗登録東店横	10:55~11:20	汐平団地汐平広場(若山町3丁目)	10:55~11:20	若草1号公園(若草町3丁目)
11:00~11:10	かに福商店前(中登録町80)	11:30~11:50	富浜公園海岸通り(栄町4丁目)	11:30~11:50	さわやか公園(若草町2丁目)
11:20~11:30	登録温泉公民館前(登録温泉町)	13:00~13:30	檜の木公園(栄町1丁目)	13:00~13:30	優和園(若草町5丁目)
11:40~12:00	温泉中学校前バス停	13:40~14:00	鶯別保育所前(鶯別町4丁目)	13:40~14:00	わらべ公園(新生町2丁目)
13:00~13:30	コープタウン内つくし公園(千歳町4丁目)	14:10~14:40	鶯六園前(鶯別町6丁目)	14:10~14:30	ことぶき公園(新生町1丁目)
13:40~14:00	猪股一雄さん宅前(千歳町6丁目55-6)	14:50~15:20	鶯別郵便局前(鶯別町1丁目)	14:40~15:00	千代の台団地内幼児公園(新生町3丁目)
14:10~14:40	柏葉団地5号棟前駐車場(柏木町)	15:30~16:00	鶯別支所前	15:10~15:30	老人憩の家希望の家(新生町5丁目)
14:50~15:20	柏葉団地9号棟前駐車場(柏木町)			15:40~16:00	あおぞら公園(新生町4丁目)
15:30~16:00	老人福祉センター前(富士町7丁目)			16:10~16:40	富岸青少年会館前(富岸町2丁目)
16:10~16:40	ちびっこ広場(富士町3丁目)				
5月30日(日)		◎鉾山・川上・上登録地区 5月26日(木)		◆飼い主の方へのお願い◆ ◎実施場所へ来る途中や実施場所です事故のないよう、飼い犬の鎖などを短く持ち、常に飼い主のそばにおくことを心掛けてください。 ◎犬がふんをしたときは必ず持ち帰り、燃やせないごみの日にごみステーションに出してください。	
時間	実施場所	時間	実施場所		
9:10~9:40	登録公民館前(登録東町2丁目)	9:20~9:30	恵寿園前(川上町)		
9:50~10:10	富浦会館前(富浦町1丁目)	9:45~9:55	旧幌別鉾山簡易郵便局前(鉾山町)		
10:20~10:50	佐藤善栄さん宅横(幸町5丁目・滝田商店裏)	10:30~10:40	権兵衛斎前(上登録町)		
11:00~11:20	田すずかけ作業所横広場(幌別町7丁目)	10:45~10:55	オロフレ荘前(カルルス町)		
11:30~11:50	鉄南ふれあいセンター前				
13:00~13:20	幌別中学校前				
13:30~14:00	登喜和運輸前(常盤町2丁目)				
14:10~14:30	佐々木商店前広場(片倉町・幌別西団地横)				
時間	実施場所	◎来馬・札内地区 5月26日(木)			
14:40~15:00	片倉町4丁目公園	時間	実施場所		
15:10~15:40	登録市役所前	13:00~13:20	偕楽園前(札内町)		

▼熊舞



▼花のトンネル



▼御衣黄 片倉町の郷土資料館では、5月の中旬から下旬にかけて、「御衣黄」が淡緑色の花を咲かせます。

▼問い合わせ 「花のトンネル」・「登別温泉お花見天国」：登別観光協会 (☎33311)、「御衣黄」：郷土資料館 (☎13339)

◎登別温泉お花見天国 5月8日(土)・9日(日)の20時から20時30分には、第一滝本館前で郷土芸能「熊舞」が披露されるほか、甘酒サービスが行われます。また、花のトンネルの一部をライトアップします。

◎花のトンネル JR登別駅から登別温泉に向かう道道洞爺湖登別線の「花のトンネル」(中登別町)では、5月の中旬から中旬にかけて、エソヤマザクラなどが満開となります。

私たちの暮らす北の大地にも、ようやく春の息吹が感じられるようになりました。春を一面に彩る華やかな花として、古くから親しまれている桜の花は、淡紅色の季節の使者。今年の春は、登別の桜の名所で春を楽しんでみませんか。

お花見天国『のほりべつ』

好き
このまちが
ま ち の 風 景
5 月

となりまちホットライン

白老町

今が見ごろ コブシとサクラ咲く
白老元陣屋へどうぞ

白老元陣屋は、江戸時代末の安政3(1856)年に完成し、慶応4(1867)年までの12年間にわたり、100人以上の仙台藩の武士が駐屯していたお城です。
コブシとサクラが競演するこの季節、花見がてら、苦難の道を歩んだ祖先のルーツに、今一度思いをはせてみては…。

◎仙台藩白老元陣屋資料館のご案内
▶開館時間 9時30分～16時30分
▶入館料 大人260円、子ども130円
▶休館日 毎週月曜日
▶問い合わせ 仙台藩白老元陣屋資料館 (☎0144②666)

室蘭市

測量山山開き大会に
家族そろって出かけよう！

▶日時 5月16日(日) 10時30分～14時30分(雨天時は23日(日)に延期)
▶場所 測量山唐松平(からまつだいら)と女測量山
▶主なプログラム
◎ムロランウォーク…9時15分 中央町小公園集合
◎ステージショー…10時40分～14時30分
◎ゲーム・お楽しみ抽選会
※当日は車両の規制をしますので、できるだけ乗用車の利用を控えてください。
▶問い合わせ 室蘭観光協会 (☎0102)

伊達市

新緑の有珠山で森林浴しながら
歩いてみませんか？

伊達市観光協会は、「第9回有珠山さわやかウオークフェス」を開催します。すがすがしい新緑の季節に森林浴をしながら、さわやかな汗をかいてみませんか。

▶日時 5月23日(日) 9時30分集合
▶集合場所 旧有珠山登山バス会社跡地(道南バス有珠駅前下車、徒歩10分。無料駐車場があります)
▶コース 登山道と遊歩道の2コース
※11時30分から山頂で安全祈願祭を行うほか、豚汁のサービスがあります。
▶問い合わせ 伊達市商工観光課 (☎0142③3331)